

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立倉敷第一中学校	実践者名	前田 絵理華
教科	数学	学年	第2学年
活用内容	1か月のスマートフォンの使用時間から自分に適したプランを選び、説明しよう。	実践日	令和4年10月24日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	一次関数の利用		

活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

(1) 右図のテキストをロイロ・ノートで送り、一ヶ月のスマホやタブレットの使用時間をロイロ・ノートの提出箱を利用し事前調査を行った。

- ① 0時間以上～60時間未満
- ② 30時間以上～60時間未満
- ③ 60時間以上～90時間未満
- ④ 90時間以上～120時間未満
- ⑤ 120時間以上～150時間未満
- ⑥ 150時間以上

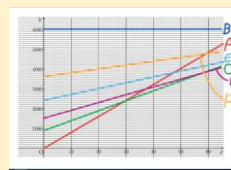
(2) この調査の結果をもとに、同じ使用時間の生徒同士を3人～4人のグループに分け、右図の課題に取り組んだ。

あなたは新しくスマートフォンを買い替える予定です。そこで、現在のスマートフォンの使用時間をもとに、最もお得な料金プランを選択したいと思います。あなたならどのプランを選びますか？

プランA：1時間につき80円
 プランB：無制限で6000円
 プランC：基本料金900円+1時間につき50円
 プランD：基本料金1500円+1時間につき40円
 プランE：基本料金2400円+1時間につき30円
 プランF：基本料金3600円+1時間につき20円

(3) どのプランが自分に合っているかを説明するために、式・表・グラフをグループ内で分担し作成した。

プラン	基本料金	1時間あたり料金	総料金
A	0	80	$y=80x$
B	6000	0	$y=6000$
C	900	50	$y=50x+900$
D	1500	40	$y=40x+1500$
E	2400	30	$y=30x+2400$
F	3600	20	$y=20x+3600$



A: $y=80x$
 B: $y=6000$
 C: $y=50x+900$
 D: $y=40x+1500$
 E: $y=30x+2400$
 F: $y=20x+3600$

(4) ロイロ・ノートの生徒間通信で、作成したものをグループ内で送り合い、互いの考えを参考にした。

(5) 自分に適したプランを式・表・グラフを用いてテキストで説明をし、提出した。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
日常生活に関連した題材を扱うことで、生徒の主体性を引き出すことができた。また、ロイロ・ノートを活用したことで、互いの考えを参考に、効果的な説明についても深く考えることができた。	(生徒の感想から) 「自身のスマートフォンの使用時間を、表やグラフから客観的に見つめ直すことができた。」 「ロイロ・ノートを使うと、考えをまとめたり説明したりすることが簡単にできた。」